

営 業 報 告 書

わが国経済は、雇用関係は厳しさがあがるものの個人消費が持ち直し、企業収益の改善や設備投資の増加など踊り場から脱却する動きが見られ緩やかに回復してきたと言われますが、当地ではその実感がわからない状況であります。一方では原油価格の高騰など景気面でのマイナスの要因も多く中小のレジャー産業等には影響大なるものがあります。

当社におきましては依然として集客状況は低迷を続け厳しい業績下にあります。冬季間の活用方法、人件費を含めた経費の縮減等をはかり事業の効率を高めなければならぬと思います。

チャチャワールドいしこしの入園状況につきましては、主なところでゴールデンウィーク期間中が13,766人（昨年同時期13,490人、276人増）、あじさい期間中が3,439人（昨年同4,513人、1,074人減）、夏休み期間中5,466人（昨年同2,275人減）で、通年では39,962人（うち大人27,725人、小人8,281人、団体外3,956人）と第11期と比較し2,286人の減となりました。

年間の営業実績では売上高61,065千円（昨年同80.73%）に対し、経常損失4,952千円（昨年同46.90%）純損失5,737千円（56.40%）となり、単年度赤字幅圧縮には成果が見られたものの、なお一層の経営改善に努めるところです。

これまで当社では行政から高森公園の管理委託を受注し営業を続けて参りました。地方自治法の改正により、高森公園管理も平成18年度より「管理委託業務」から「指定管理者」制度へと移行することになります。登米市ではこれを公募によって募集したところでありますが、高森公園管理は当社の設立意義でもあり死守すべく応募しております。公募の結果当社を含め2社競合となりましたが、経営健全化計画並びに安全面での管理徹底などが評価され、引き続き「指定管理者」として選定されたところです。しかしながら財務体質の脆弱性などの議論もあるところで、18年度以降更なる経費圧縮を継続的に進め、役員従業員一丸となって経営健全化に邁進する覚悟でございます。

株主各位の一層のご指導、ご協力をお願い致します。